

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2016年1月14日から2026年4月8日までです。	
運用方針	欧州のハイイールド債を主要投資対象とするユーロ売り／豪ドル買いの為替取引を行う、「ストラクチャラ-欧州ハイ・イールド・ボンド（IH3シェアクラス、豪ドル）」を主要投資対象とし、高水準のインカムゲインの確保と中長期的な投資信託財産の成長を目指して運用を行います。なお、「CAマネーブルファンド（適格機関投資家専用）」への投資も行います。	
主要運用対象	アムンディ・欧州ハイ・イールド債券ファンド（豪ドルコース）〈年2回決算型〉	ストラクチャラ-欧州ハイ・イールド・ボンド（IH3シェアクラス、豪ドル） CAマネーブルファンド（適格機関投資家専用）
	ストラクチャラ-欧州ハイ・イールド・ボンド（IH3シェアクラス、豪ドル）	欧州のハイイールド債
	CAマネーブルファンド（適格機関投資家専用）	本邦通貨表示の短期公社債
組入制限	投資信託証券への投資割合には制限を設けません。原則として外貨建資産への直接投資は行いません。	
分配方針	毎決算時（年2回、原則毎年4月および10月の各8日。休業日の場合は翌営業日）に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。分配金額は、委託者が基準価額水準および市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないこともあります。	

アムンディ・欧州
ハイ・イールド債券ファンド
（豪ドルコース）〈年2回決算型〉

償還 運用報告書（全体版）

第21期（償還日 2026年4月8日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

当ファンドはこの度、2026年4月8日に信託期間を満了し、償還の運びとなりました。ここに、謹んで運用経過と償還内容をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますよう、よろしく願い申し上げます。

アムンディ・ジャパン株式会社

〒105-0021 東京都港区東新橋1丁目9番2号

お客様サポートライン：050-4561-2500

受付は委託会社の営業日の午前9時から午後5時まで
ホームページアドレス：<https://www.amundi.co.jp/>

< 5423891・5481546 >

■最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額 (分 配 落)	税 込 配 金	期 騰 落 中 率	投 資 信 託 証 券 組 入 比 率	純 資 産 総 額
17期 (2024年4月8日)	15,155	0	14.1	97.8	28
18期 (2024年10月8日)	15,802	0	4.3	98.5	29
19期 (2025年4月8日)	13,982	0	△11.5	98.7	25
20期 (2025年10月8日)	16,855	0	20.5	98.5	29
(償 還 時)	(償還価額)				
21期 (2026年4月8日)	18,769.09		11.4	—	28

(注) 当ファンドは運用成果の目標基準となるベンチマークを設けておりません。また、当ファンドと適切に対比できる参考指数はありません。以下同じ。

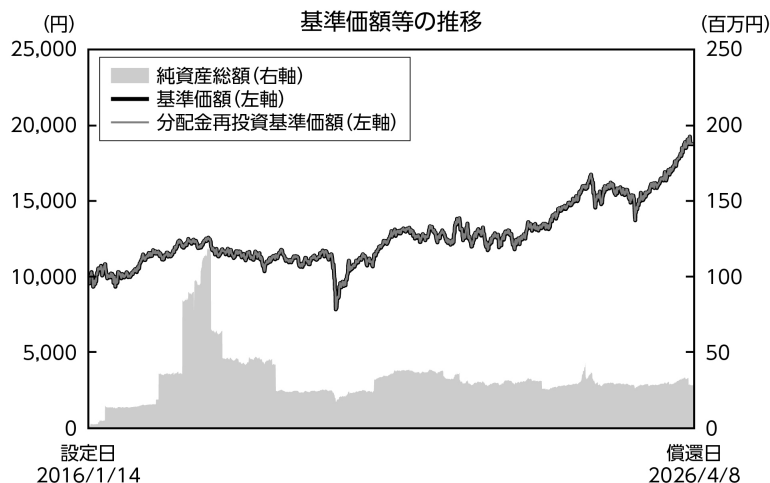
■当期中の基準価額等の推移

年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率	投 資 信 託 証 券 組 入 比 率
(期 首) 2025年10月8日	16,855	—	98.5
10月末	17,068	1.3	98.7
11月末	17,279	2.5	98.6
12月末	17,769	5.4	98.0
2026年1月末	18,438	9.4	99.0
2月末	18,959	12.5	99.1
3月末	18,772	11.4	—
(償 還 時)	(償還価額)		
2026年4月8日	18,769.09	11.4	—

(注) 騰落率は期首比です。

【設定以来の基準価額等の推移】

第1期首 (設定日)	10,000円
第21期末 (償還日)	18,769円09銭
既払分配金 (税込み)	10円
騰落率	87.9% (分配金再投資ベース)



(注1) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客様の損益の状況を示すものではありません。

【基準価額の主な変動要因】

当ファンドの基準価額は上昇しました。

上昇要因

- ・ 信託期間を通じて、欧州ハイイールド債市場のクレジットスプレッド（国債との利回り格差）が拡大する局面はありましたが、全体としてはクレジットスプレッドが縮小したことがプラスに働いたこと
- ・ 為替市場において、おおむね信託期間を通じて豪ドル高・円安となったこと
- ・ ユーロ売り／豪ドル買いの為替取引により、プレミアム（金利差相当分の収益）を得たこと

下落要因

- ・ 2022年、ロシアのウクライナ侵攻により欧州ハイイールド債市場のクレジットスプレッドが大幅に拡大したこと

【投資環境】

＜欧州ハイイールド債券市場＞

欧州ハイイールド市場は、2016年前半は中国株急落や原油安、金融セクター不安で軟調に推移したものの、ECB（欧州中央銀行）の大規模緩和や社債購入拡大を背景に、投資家の利回り追求が強まり持ち直しました。2017～2018年はユーロ圏景気の改善、企業ファンダメンタルズ（基礎的条件）の堅調さ、低いデフォルト（債務不履行）率に支えられ、底堅い展開となりました。2020年は新型コロナウイルスの影響で急落しましたが、各国中銀・政府の大規模支援とワクチン期待を受けて回復し、2021年もおおむね安定しました。2022年以降はインフレ高進、利上げ、ロシアのウクライナ侵攻による地政学的リスクの高まりなどにより逆風が強まった一方、2023年は景気下支えと企業収益の底堅さが支援材料となりつつも、金利上昇でクレジットスプレッド（国債との利回り格差）は振れやすい局面が続きました。その後はトランプ関税、地政学的リスクの高まりからクレジットスプレッドが拡大する場面もありましたが、総じて堅調に推移し、クレジットスプレッドは縮小しました。一方、国債利回りは、2021年までは低位で推移した後、2022年以降は米欧の中央銀行の利上げを受けて上昇（債券価格は下落）基調となり、2023年には良好な経済指標や米国国債利回りの上昇を背景に一段と上振れしやすく、償還日にかけても高い水準で推移しました。このような環境下、信託期間中の欧州ハイイールド債市場のトータル・リターンはプラスとなりました。

＜為替市場＞

信託期間中の豪ドル／円相場は81円台で始まり、中国景気や資源価格、オーストラリア準備銀行（中央銀行）の金融政策に左右されつつ、おおむね底堅い推移となりました。2016～2019年は商品市況の変動やリスク選好の強弱で上下しましたが、2020年は新型コロナウイルスの影響を受け急落した後、資源価格の持ち直しと世界経済の回復期待で反発しました。2022年は世界的な利上げと中国の景気減速懸念で振れ幅が大きくなったものの、オーストラリアの相対的に高い金利水準が豪ドル／円相場を下支えしました。2025年以降は商品市況の持ち直しとオーストラリア準備銀行の慎重ながらもタカ派的な姿勢が追い風となり、円安基調の中で111円台後半で償還日を迎えました。

＜日本の短期国債市場＞

信託期間中、短期国債市場では、TDB（国庫短期証券）3ヵ月物利回りはマイナス圏での推移が長く続きましたが、償還日に向けては0.8%台半ばまで上昇しました。日銀は2016年にマイナス金利を導入し、TDB 3ヵ月物利回りは低位での推移が長く続きました。その後2024年からは、日銀による段階的な利上げにともないTDB 3ヵ月物利回りは上昇しました。

【ポートフォリオ】

＜当ファンド＞

当ファンドは、主として欧州のハイイールド債に投資しユーロの為替リスクを豪ドルの為替リスクに変換した投資信託証券「ストラクチャラ-欧州ハイ・イールド・ボンド（IH3シェアクラス、豪ドル）」を主要投資対象とし、高水準のインカムゲインの確保と中長期的な投資信託財産の成長を目指して運用を行いました。当該投資信託証券への投資比率は高位を維持しました。また、円建の国内籍投資信託「CAマネープールファンド（適格機関投資家専用）」にも投資を行いました。なお、償還に向けて、2026年3月にストラクチャラ-欧州ハイ・イールド・ボンド（IH3シェアクラス、豪ドル）およびCAマネープールファンド（適格機関投資家専用）を全て売却しました。以降は解約金、償還金の支払いに備えコールローン等の短期金融資産を中心とした安定運用に切り替えました。

（アムンディ・ジャパン株式会社）

＜ストラクチャラ-欧州ハイ・イールド・ボンド（IH3シェアクラス、豪ドル）＞

信託期間を通じて欧州ハイイールド市場について前向きな姿勢を維持し、組入比率を高位に保ちました。2020年の新型コロナウイルスのパンデミック（世界的大流行）局面では、分散投資と流動性確保を重視し、影響の大きいレジャー・輸送セクターを削減しました。2021～2023年は、劣後債やハイブリッド債を活用しつつ、ベータやデュレーションを調整し、市場の上昇余地を取り込みました。その後、魅力的なキャリーを背景にクレジット・エクスポージャーをやや引き上げる一方、低格付債は削減し、不動産・化学より金融や景気循環セクターを選好し、金利リスクは代表的な指数であるICE BofA European Currency High Yield Constrained Index並みに維持しました。

（アムンディ・アセットマネジメント）

実質的なユーロ建資産に対し、ユーロ売り／豪ドル買いの為替取引を行い、信託期間を通じて豪ドルのエクスポージャーをおおむね100%に維持しました。

（アムンディ・ジャパン株式会社）

＜CAマネープールファンド（適格機関投資家専用）＞

信託期間中、主として12ヵ月以内に償還を迎える短期国債への投資により、安定した収益の確保を目指して運用を行いました。

（アムンディ・ジャパン株式会社）

【分配金】

第21期は最終期のため、分配は行いませんでした。設定来の分配金額につきましては、後記の「投資信託財産運用総括表」をご覧ください。なお、収益分配に充てず、信託財産内に留保した収益については、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行いました。

満期償還にあたり、受益者のみなさまのご愛顧に対し心からお礼申し上げます。

■ 1万口当たりの費用明細

項 目	第 21 期 (2025年10月9日 ～2026年4月8日)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	100円 (28) (69) (3)	0.554% (0.154) (0.384) (0.016)	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、 購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用 (印 刷 費 用)	8 (8)	0.045 (0.045)	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 ファンドの法定開示資料の印刷に係る費用
合 計	108	0.599	

期中の平均基準価額は18,047円です。

(注1) 費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注3) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

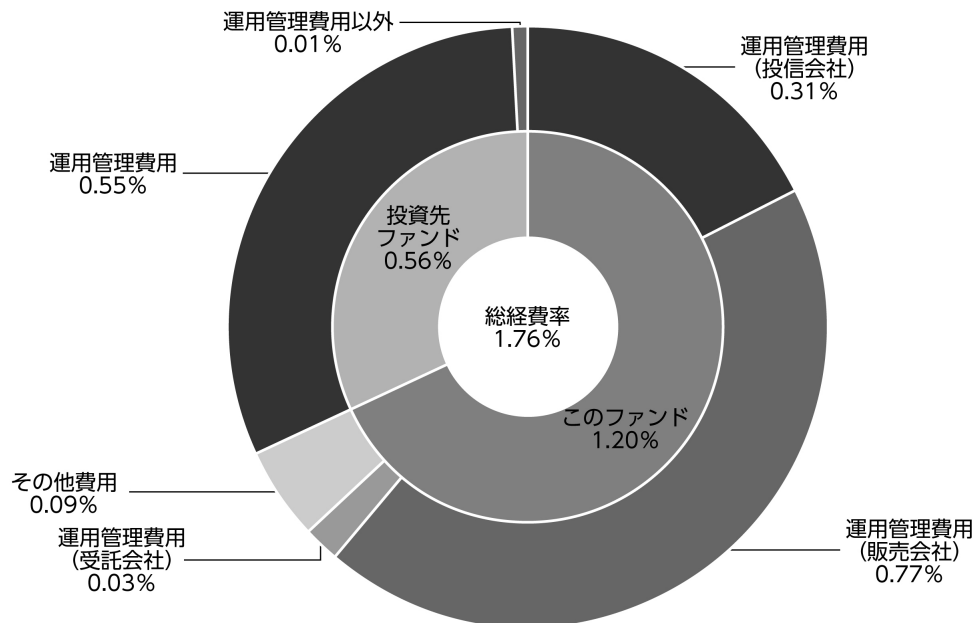
(注4) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

(注5) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

●総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.76%です。



総経費率 (①+②+③)	1.76%
①このファンドの費用の比率	1.20%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.55%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.01%

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券です。

(注5) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注6) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

アムンディ・欧州ハイ・イールド債券ファンド（豪ドルコース）〈年2回決算型〉

■売買及び取引の状況（2025年10月9日から2026年4月8日まで）

投資信託受益証券、投資証券

		買 付		売 付	
		口 数	買 付 額	口 数	売 付 額
国内	CAマネープールファンド（適格機関投資家専用） （ルクセンブルク）	口	千円	口	千円
		—	—	9,924	9
外国	ストラクチャラ-欧州ハイ・イールド・ボンド （IH3シェアクラス、豪ドル）	1,050	千オーストラリアドル 29	11,139	千オーストラリアドル 304

(注1) 金額は受渡し代金です。

(注2) 単位未満は切捨てです。

■利害関係人との取引状況等（2025年10月9日から2026年4月8日まで）

当期中における利害関係人との取引等はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■組入資産の明細（2026年4月8日現在）

償還日現在、有価証券の組入はありません。

(前期末：2025年10月8日現在)

(1) 国内（邦貨建）投資信託受益証券

銘		柄		期首（前期末）	
				口	数
CAマネープールファンド（適格機関投資家専用）				口	9,924
合 計		口	数	9,924	
	銘	柄	数	1	

(注) 単位未満は切捨てです。以下同じ。

(2) 外国（外貨建）投資証券

銘柄	期首（前期末）
(ルクセンブルク) ストラクチュラ-欧州ハイ・イールド・ボンド (IH3シェアクラス、豪ドル)	10,089
合計	10,089
銘柄数	1

■投資信託財産の構成（2026年4月8日現在）

項目	償還時	
	評価額	比率
コール・ローン等、その他	28,193千円	100.0%
投資信託財産総額	28,193	100.0

(注) 金額の単位未満は切捨てです。

■資産、負債、元本及び償還価額の状況

(2026年4月8日現在)

項目	償還時
(A) 資産	28,193,362円
コール・ローン等	28,192,899
未収利息	463
(B) 負債	181,561
未払信託報酬	167,787
その他未払費用	13,774
(C) 純資産総額(A-B)	28,011,801
元本	14,924,429
償還差益金	13,087,372
(D) 受益権総口数	14,924,429口
1万口当たり償還価額(C/D)	18,769円09銭

(注記事項)

期首元本額	17,626,261円
期中追加設定元本額	958,843円
期中一部解約元本額	3,660,675円

■損益の状況

当期（自2025年10月9日 至2026年4月8日）

項目	当期
(A) 配当等収益	1,935,591円
受取配当金	1,925,353
受取利息	12,024
その他収益金	△ 1,786
(B) 有価証券売買損益	1,048,770
売買益	2,986,393
売買損	△ 1,937,623
(C) 信託報酬等	△ 181,561
(D) 当期損益金(A+B+C)	2,802,800
(E) 前期繰越損益金	4,899,655
(F) 追加信託差損益金	5,384,917
(配当等相当額)	(16,541,696)
(売買損益相当額)	(△11,156,779)
償還差益金(D+E+F)	13,087,372

(注1) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注2) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

■投資信託財産運用総括表

信託期間	投資信託契約締結日	2016年 1 月 14 日		投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2026年 4 月 8 日		資産総額	28,193,362円
区分	投資信託契約締結当初	投資信託契約終了時	差引増減または追加信託	負債総額	181,561円
				純資産総額	28,011,801円
受益権口数	1,009,687口	14,924,429口	13,914,742口	受益権口数	14,924,429口
元本額	1,009,687円	14,924,429円	13,914,742円	1万口当たり償還金	18,769.09円

毎計算期末の状況

計算期	元本額	純資産総額	基準価額	1万口当たり分配金	
				金額	分配率
第1期	4,271,909円	4,303,189円	10,073円	10円	0.1000%
第2期	13,236,064	13,592,859	10,270	0	0.0000
第3期	31,012,741	34,985,216	11,281	0	0.0000
第4期	72,181,917	88,076,613	12,202	0	0.0000
第5期	54,227,814	62,615,500	11,547	0	0.0000
第6期	40,204,160	45,391,207	11,290	0	0.0000
第7期	21,200,172	24,423,199	11,520	0	0.0000
第8期	21,565,214	23,401,914	10,852	0	0.0000
第9期	21,582,573	19,210,524	8,901	0	0.0000
第10期	21,656,372	24,020,330	11,092	0	0.0000
第11期	29,032,873	37,540,664	12,930	0	0.0000
第12期	28,978,895	36,808,592	12,702	0	0.0000
第13期	26,030,331	35,306,272	13,564	0	0.0000
第14期	23,221,932	27,549,373	11,864	0	0.0000
第15期	24,074,684	29,327,624	12,182	0	0.0000
第16期	18,986,736	25,227,736	13,287	0	0.0000
第17期	19,119,081	28,974,233	15,155	0	0.0000
第18期	18,425,363	29,116,097	15,802	0	0.0000
第19期	18,464,014	25,816,966	13,982	0	0.0000
第20期	17,626,261	29,709,324	16,855	0	0.0000

■償還金のお知らせ

償還決算日	2026年4月8日
1万口当たりの償還金（税込み）	18,769円09銭

《お知らせ》

- ・一般社団法人投資信託協会が一般社団法人資産運用業協会に名称を変更したことにもない、2026年4月1日付で投資信託約款に所要の変更を行いました。